

管内貿易概況（徳山、光、防府、平生）

平成 21 年分（速報値）

平成 22 年 2 月 15 日
徳山税関支署

輸出は 2 年連続のマイナス
輸入は 7 年振りのマイナス

1. 総額

輸出	8, 697 億 77 百万円	(- 31. 5%)
輸入	5, 122 億 27 百万円	(- 45. 9%)
輸出入差引額	3, 575 億 50 百万円の出超	

(増減比は前年比、以下同じ。)

2. 輸出

輸出総額は、8, 697 億 77 百万円、伸び率 - 31. 5%、金額にして 3, 990 億 81 百万円の減少で 2 年連続のマイナスとなった。これは無機化合物、一般機械などが好調であったものの、自動車、鉄鋼などが不振だったことが主な要因となっている。

品目別動向では、韓国、台湾等向けの無機化合物が 44 億 98 百万円の増加、中国、アメリカ等向けの一般機械が 18 億 25 百万円の増加となった。

一方、北米、欧州等向けの自動車が 2, 891 億 22 百万円の減少、韓国、中国等向けの鉄鋼が 704 億 02 百万円の減少、中国、韓国等向けの有機化合物が 190 億 70 百万円の減少、中国、アメリカ等向けの自動車の部分品が 144 億 82 百万円の減少、中国、マレーシア等向けの合成ゴムが 133 億 62 百万円の減少となった。

《増加品目》無機化合物	318 億 71 百万円	(44 億 98 百万円増、+ 16. 4%)
一般機械	64 億 81 百万円	(18 億 25 百万円増、+ 39. 2%)
《減少品目》自動車	4, 281 億 67 百万円	(2, 891 億 22 百万円減、- 40. 3%)
鉄鋼	624 億 17 百万円	(704 億 02 百万円減、- 53. 0%)
有機化合物	1, 381 億 63 百万円	(190 億 70 百万円減、- 12. 1%)
自動車の部分品	510 億 68 百万円	(144 億 82 百万円減、- 22. 1%)
合成ゴム	242 億 19 百万円	(133 億 62 百万円減、- 35. 6%)

3. 輸入

輸入総額は、5, 122 億 27 百万円、伸び率 - 45. 9%、金額にして 4, 340 億 58 百万円の減少で 7 年振りのマイナスとなった。これは塩などが増加したものの、輸入品の約 7 割を占める原油及び粗油、石油製品などが減少したことが主な要因となっている。

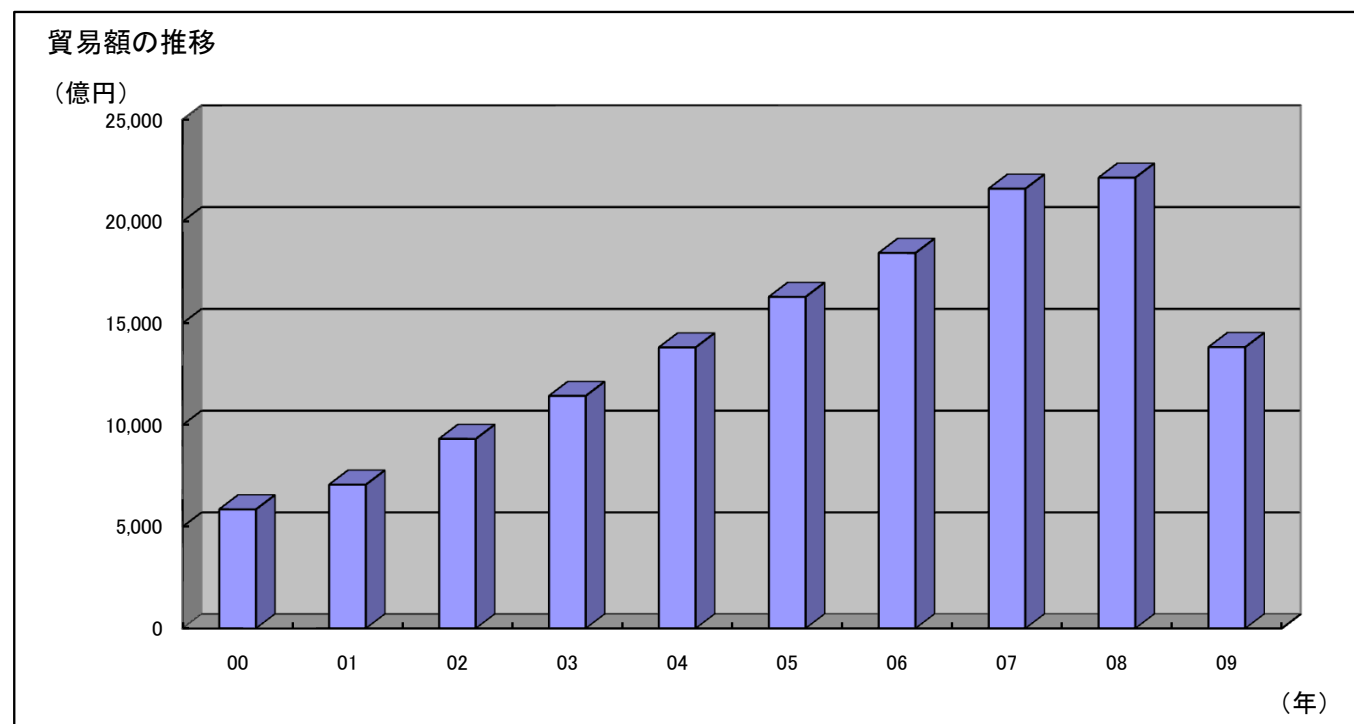
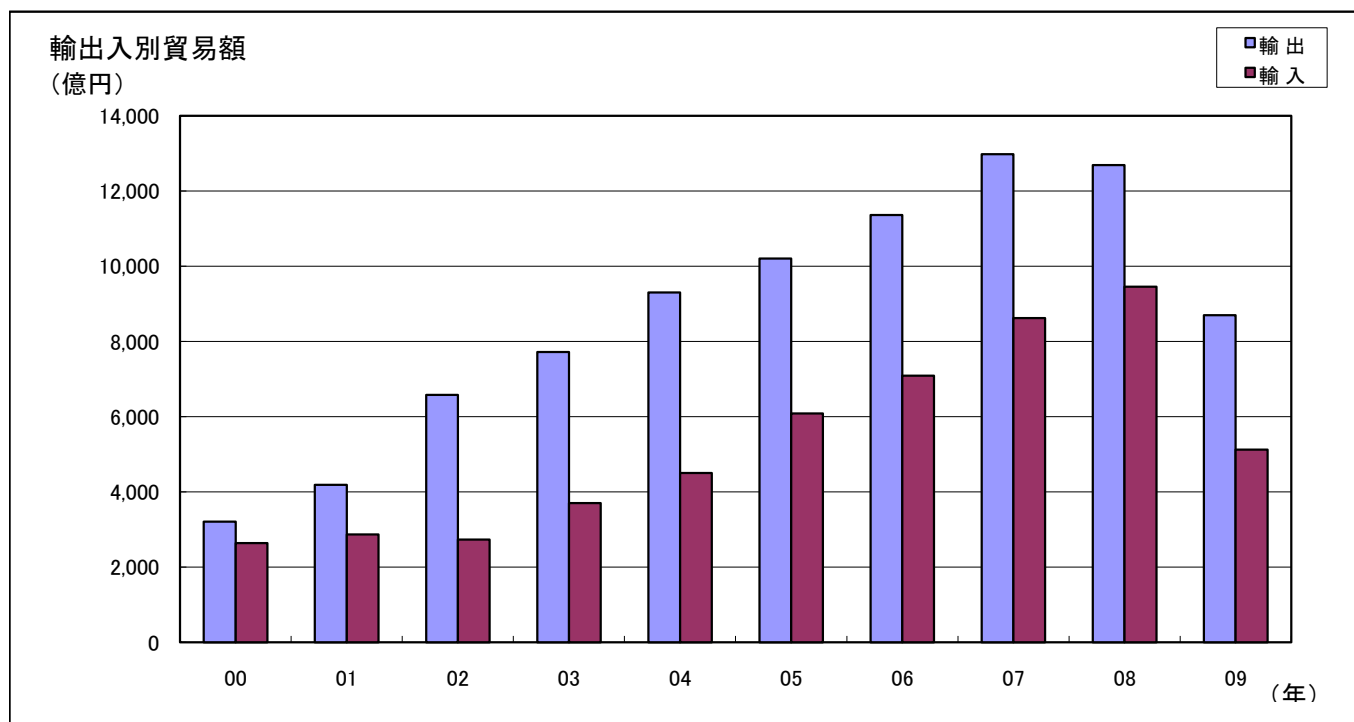
品目別動向では、オーストラリア、メキシコ等からの塩が 26 億 80 百万円の増加となった。

一方、カタール、アラブ首長国連邦等からの原油及び粗油が 2, 030 億 26 百万円の減少、サウジアラビア、アラブ首長国連邦等からの石油製品が 677 億 03 百万円の減少、南アフリカ、ニューカレドニア等からの鉄鋼が 412 億 03 百万円の減少、中国、マレーシア等からの機械類及び輸送用機器が 381 億 69 百万円の減少、オーストラリア、インドネシア等からの石炭が 185 億 62 百万円の減少、東ティモール、サウジアラビア等からの液化石油ガスが 136 億 27 百万円の減少となった。

《増加品目》塩	146 億 33 百万円	(26 億 80 百万円増、+ 22. 4%)
《減少品目》原油及び粗油	2, 094 億 40 百万円	(2, 030 億 26 百万円減、- 49. 2%)
石油製品	838 億 97 百万円	(677 億 03 百万円減、- 44. 7%)
鉄鋼	294 億 10 百万円	(412 億 03 百万円減、- 58. 4%)
機械類及び輸送用機器	251 億 67 百万円	(381 億 69 百万円減、- 60. 3%)
石炭	617 億 23 百万円	(185 億 62 百万円減、- 23. 1%)
液化石油ガス	138 億 42 百万円	(136 億 27 百万円減、- 49. 6%)

注. この内容を引用されるときは、徳山税関支署発表による旨附記してください。

年別 徳山税関支署管内貿易額推移グラフ



(億円)

年	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09
輸出	3,206	4,189	6,576	7,719	9,303	10,203	11,358	12,980	12,691	8,698
輸入	2,641	2,872	2,735	3,704	4,504	6,085	7,089	8,625	9,456	5,122
合計	5,847	7,061	9,311	11,423	13,807	16,288	18,447	21,605	22,147	13,820